

# 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 グランドソフトボール競技実施要領

## 1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名及び選手15名以内（男女は問わない。）とし、ほかに専任のコーチャー4名以内、スコアラ－1名及びマネ－ジャー1名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。  
この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督を含めて15名以内とする。
- (3) 参加申込書の提出後は、登録選手の変更を認めない。

## 3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後80分（決勝・3決は110分）を経過した後は、新しい回に入らない。7回終了時、同点の場合は8回からタイブレークにより試合を延長して行う。
- (3) 同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームのプレイヤーが最終回の守備位置順に抽選し、勝敗を決定する。
- (4) 指名打者（DH）及び再出場（リエントリー）を採用する。

## 4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャー及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、専任のコーチャーは31番から34番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。  
また、ユニフォームの左袖に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラ－及びマネ－ジャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中の選手（コーチャー含む）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

## 5 試合球

試合球は、全日本グランドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

## 6 組合せ

組合せは、令和5年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

## 7 打順表等

- (1) 打順表は試合開始時刻30分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出すること。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。  
なお、打順表は、監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、打順表の提出の時に審判員立会いのもと決定する
- (3) 視力区分（全盲・弱視）の登録は、打順表の提出をもって行う。

## 8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。  
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の有無及び実施方法を変更することがある。

## 9 その他

- (1) 令和5年10月27日（金）に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、選手、監督、コーチャー、スコアラー、マネージャー以外は入場することができない。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) アイシェード、全盲プレイヤー標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 少雨の場合は決行するが、荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。